

フランス発 VR ゲーム Battlescar(バトルズカー)、Gloomy Eyes (グルーミー・アイズ) Meta Quest と Steam で日本語版を配信

圧倒的没入感で受賞歴多数の VR ゲーム「Battlescar (バトルズカー)」と
「Gloomy Eyes (グルーミー・アイズ)」、Meta Quest と Steam で日本語版の配信を開始



フランスの VR コンテンツ製作スタジオ、アトラス・ファイブ (Atlas V) と共同プロデューサー兼パブリッシャーの仏テレビ局アルテ(Arte)は、このたび VR ゲーム 2 作品「Battlescar(バトルズカー)」、「Gloomy Eyes (グルーミー・アイズ)」の日本語版、韓国語版を Meta Quest 公式ストアに加え、Steam での配信を開始しました。

パンデミックで自宅時間が増え、家庭用ゲームの需要が高まり市場は拡大傾向にあります。フランスの娯楽ソフトウェア出版・製作組合 S.E.L.L.(Syndicat des éditeurs de logiciels de loisirs)によれば、2020 年フランスのゲーム業界は 53 億ユーロの販売を記録し、対前年比 11.3% 増と活況を呈しています。フランスの製作スタジオのうち、約 20% が VR (ヴァーチャルリアティ / 仮想現実) 関連のプロジェクトに携わっています。このたび、最先端の VR コンテンツからアニメーションまで、品質に定評がある仏製作スタジオ「アトラス V(ファイブ)」と、仏独出資の教育・文化関連テレビ局アルテ(Arte)は、「Battlescar(バトルズカー)」と「Gloomy Eyes (グルーミー・アイズ)」の日本語版を Meta Quest 公式ストア、Steam での配信を開始しました。

Battlescar(バトルズカー)パンクを生んだのは少女たち

16 歳の家出少女ルーペが日記に綴る記憶を追うストーリー。英語版の吹き替えは『メン・イン・ブラック 2』『シン・シティ』に出演する米ロザリオ・ドーソン。1978 年のニューヨークシティ、ルーペが少年鑑別所で、パンクミュージックに情熱を燃やす反抗的な同い年の少女デビーと出会うところから始まります。デビーはルーペを、NY で最も荒れて危険な地区として知られるミステリアスなローワーイーストサイドに案内します。そこはパンクミュージックがドラッグや犯罪と隣り合わせの荒れた場所でした。危険を顧みず、2 人の少女は自分たちのロックバンド結成を決意します。

サンダンス映画祭、トライベッカ映画祭、ヴェネツィア国際映画祭、アヌシー国際アニメーション映画祭ノミネート作品。

Battle car(バトルズカー)トレーラーのリンクは[こちら](#)

監督: Martín Allais、Nico Casavecchia
脚本: Nico Casavecchia、Mercedes Arturo
共同出版: Meta (Oculus)、Arte France、Atlas V、RYOT
製作: Atlas V、Albyon、1STAvemMachine
ローカライズ: 株式会社アクティブゲーミングメディア
プラットフォーム(税込販売価格): [Meta Quest](#) 590 円 [Steam](#) 620 円

Gloomy Eyes (グルーミー・アイズ)

同じくアトラス V とアルテによる「グルーミー・アイズ」は 3 部作の 3D VR 作品。英語版のナレーションは『ザ・バットマン』のコリン・ファレル。太陽の光が当たらなくなった街を舞台に、ゾンビの子供グルーミーと人間の少女ニーナの心温まるノスタルジックなストーリーが描かれます。太陽が姿を隠し、闇に包まれた街では、墓場から死者が蘇り、人類とゾンビの戦いが日常的に。恐怖で街を支配する残酷な司祭ルイスは、満月のたびにゾンビハンティングを行います。ゾンビの少年グルーミーと、ルイスの姪ニーナの悲運の恋は、太陽の光を取り戻す最後の希望の種となるのか。登場人物に限りなく近づける 6DoF 対応で、正面、下、上などさまざまな角度から背景や主人公の姿を追えます。受賞歴多数の本作は、グルーミーとニーナの放浪の旅を通して、リアルタイムな没入感体験と新感覚の次元を発見できる作品です。

アヌシー国際アニメーション映画祭「ベスト VR 体験賞」受賞(2019 年)、SXSW「審査員賞(ストーリー部門)」受賞(2019 年), NewImages Festival(2019 年) Infinity Film Festival など受賞歴多数。

Groomy Eyes のトレーラーへのリンクは[こちら](#)

監督: Fernando Maldonado, Jorge Tereso
脚本: Fernando Maldonado, Jorge Tereso, Santiago Amigorena
製作: Atlas V、Meta (Oculus)、Arte France、Ryot, Albyon、1STAvemMachine
音楽: Cyrille Marchesseau
ローカライズ: 株式会社アクティブゲーミングメディア
プラットフォーム(税込販売価格): [Meta Quest](#) 790 円 [Steam](#) 930 円

Arte (アルテ)について

1992 年に仏独共同出資で設立された Arte は、クリエイティビティとイノベーションに焦点を当てた公共の文化放送局でありデジタルネットワーク。『[Type:Rider](#)』、『[Vectronom](#)』、『[Vandals](#)』、『[Homo Machina](#)』、『[The Wanderer](#)』、『[Bury me my Love](#)』など多数のインタラクティブ代表作を共同製作、『[Notes of blindness](#)』、『[Fisherman's tale](#)』など VR 映像作品も手掛ける。詳しくは: www.arte.tv Twitter: [@ARTEfr](#) [@ARTE_Interactif](#) FB: <https://www.facebook.com/artetv>

Atlas V(アトラス・ファイブ)について

フランスのデジタルコンテンツ製作スタジオ Atlas V は受賞歴多数の作品を手がける。ヴェネツィア国際映画祭(Gold Lion 2018)、サンダンス映画祭(5 選)、Peabody International Festival(Future of Media award 2019)、トライベッカ映画祭、SXSW(Storytelling Award 2019)、シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭、テルライド映画祭、カンヌ映画祭、釜山国際映画祭、シチチス映画祭で受賞。2020 年、ゲームや映画制作の最前線で活動する、リアルタイムテクノロジーのスペシャリストで構成されるチームを結成し Albyon 社として立ちあげる。

詳しくは: atlasv.io FB: <https://www.facebook.com/atlasvcorp> Twitter: [@AtlasVcorp](#)

本件に関するお問い合わせ

フランス大使館 貿易投資庁-ビジネスフランス 松木 03-5798-6149 | asako.matsuki@businessfrance.fr